

【準決勝】

**流通経済大柏 vs 市立習志野**

流通経済大柏、習志野共に1-4-4-2システムでキックオフ。流通経済大柏はFWに配球して起点を作り、サイドに展開してドリブルでの仕掛けやクロスボールからチャンスを作る。また、サイドでの攻撃からスローインを獲得し、ロングスローによってゴール前でチャンスを作る。習志野は前半4分、カウンターで得たスローインから⑩桜庭がクロスを上げ⑫鈴木が頭で合わせて先制する。さらに、前半終了間際に相手がクリアしようとしたボールをさらった⑩桜庭のラストパスから⑨内林が落ち着いて追加点をあげる。後半に入ると流通経済大柏は4人のメンバー交代を行い、前線に人数をかけて点を取りに行く。立ち上がり早々にロングスローの2次攻撃から⑬三好が1点を返す。その後もシンプルに前線に配球し、勢いのある攻撃と速い切り替えで習志野を押し込む。習志野は⑤関、⑧松戸を中心に粘り強い守備を続け、GK西村の再三にわたるファインセーブで流通経済大柏に追加点を許さない。流通経済大柏は個を生かしたバリエーション豊富な攻撃でゴールに迫るも、度重なる決定機を決め切ることができず、後半押し込まれながらもリードを守り切った習志野が全国大会出場を決めた。

千葉県立八千代高等学校 堤 誠太郎

**日体大柏 vs 市立船橋**

前半、日体大柏は1-3-4-2-1システム、市立船橋は1-4-3-2-1システム。攻守の切り替えが早く中盤での激しい攻防が続く中、10分過ぎから市立船橋高校がボールを握り始める。幅と深さを取りながらサイドで数的優位をつくり、スピードある両サイドの②松尾と③畑の突破からクロスまではいくシーンを作るが決定機まではいかない。対する日体大柏は、中盤のゾーンをコンパクトに保ち、守備の時は5-2-3。サイドを突破されてもDFラインとGK倉田との連携で最後のところはやらせない。押し込まれる展開ではあるが、ロングスローやセットプレーで少ないチャンスを作った。

後半、選手交代をきっかけにゲームは動く。15分、途中から入った⑩井上がサイドで起点となり、コーナーキックを得る。ショートコーナーから井上が突破し、フォアサイドへクロスを上げ、③畑がヘディングシュートで先制。続く28分またしても市立船橋高校⑩井上の左サイド突破から⑨鈴木へパス。ゴール前冷静にシュートを決め2-0とする。リードした市立船橋高校は落ち着いたゲーム運びと最後まで闘う姿勢を見せ全国出場を決めた。

千葉県立沼南高柳高等学校 尾張 堯映

## 【決勝】

### 市立習志野 vs 市立船橋

習志野は1-4-4-2、市立船橋は1-4-3-2-1システムでキックオフ。市立船橋はDFと中盤3枚でボールを落ち着かせ、FWや高い位置の中間へ配球するタイミングを作る。背後へのアクション、相手選手間でのサポート、中央とサイドをバランスよく使い、相手を揺さぶりながら縦パスやボールキープによって高い位置で前向きの選手を作ってスピードアップする。その中でもサイドからゴールに迫る機会を多く作り出し、FWへ当てて落とす形やクロス、カットインでシュートチャンスを作るも得点には至らない。習志野は局面でのプレッシャーとゴール前の粘り強さで得点を許さず、ボール奪取をきっかけにしてボール周辺のサポートと仕掛け、背後へのアクションで突破を目指す。押し込まれる時間が長いながらも献身的に守備を続け、後半38分カウンターでの2次攻撃から⑮間山のクロスを⑨内林が決め先制ゴールを挙げる。さらに、アディショナルタイムに⑥大舟のシュートが相手DFの手に当たりPKを獲得。これを⑩中澤が左に決め、勝利を大きく手繰り寄せる。最後まで集中を切らさず、市立船橋に得点を許さなかった習志野が千葉県総体の優勝を手にした。

千葉県立八千代高等学校 堤 誠太郎